

**区長と教育委員の  
連携強化に向けて**

6月10日（火）、濱野区長と区教育委員が、今年度初めての懇談会を行いました。

この懇談会は、行政部局長である区長と、教育委員が直接意見交換できる場を設けることにより、双方の連携をより強化していくことを目的に、25年度から実施しているものです。今回、濱野区長と、4月1日付で新しく任命された菅谷教育委員を含め5人の教育委員が出席しました。

冒頭、濱野区長は「2020年に東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、グローバル時代を迎えた学校教育において、今、何を優先して行うべきか一緒に考えご意見をいただきたい。」と挨拶しました。

約2時間の懇談の中では、品川区が全国に先駆けて行った学校選択制、英語教育の取り組み、区独自の市民科など、これまでの教育の進め方を振り返り、さらに推進していくことが

重要であることを相互に再認識しました。

また、外国からのお客様に対して話しかけられるような英会話力や、品川を含めた日本の地理や歴史を知ることの重要性、区民が継続して楽しめるスポーツの場の確保など、双方の立場から率直な意見が交わされました。

平成26年度は、計2回の懇談会の開催が予定されています。



**品川区では区固有教員の  
採用を行っています**

品川区では、将来にわたり区の教育に教員として携わりながら、教育改革の中核を担っていく人材を確保する目的で区独自で教員の採用を行っています。この区固有教員には、品川区の教育理念に基づき実施する教育施策を主体的かつ積極的に推進することが期待されています。現在18名の区固有教員が区立学校で活躍しています。

また、18名の区固有教員は、平成24年度に設置された区長を会長とする「品川区教志研究協



議会」で資質や能力の向上に努めています。

4月の開講式では、区長の講義を通して品川区の各地区への理解をさらに深め、区固有教員への思い、願いを改めて感じる機会になりました。

また、平成25年度の研修から市民科・英語科・理数教育の3つのグループに分かれ、3年計画で授業実践やカリキュラム開発の研究を進めています。今回の研修では、昨年の研究を受け、今年の研究や授業実践の方向について、グループ協議を行いました。

夏には2泊3日の宿泊研修もを行い、本区独自の教育内容、指導方法の研究を深める予定です。



区固有教員  
採用1年目を振り返って



日野学園 奥田 牧子

品川区固有教員として勤務し、1年が経過しました。昨年度は、忙しいながらも、学ぶことが多い充実した日々を過ごしました。

現在勤務する日野学園では、英語専科として1年生から6年生までの英語を担当しています。これまで他県で中学英語教員として勤務していましたが、小学生の英語に対する意欲や知識の高さにとても驚き、将来の英語教育の可能性を感じました。

また、小中一貫教育のよさも知りました。小中合同で授業研究や討議を行うことで、全国的な課題でもある、小中連携の難しさが解消されます。小中の教員同士が互いのよさを知り、教育内容を知ることが、結果として児童・生徒の継続的な教育に繋がることを実感しました。

これから品川区の英語教育は大きく変わります。区の固有教員として、今後の英語教育の発展のため、小中一貫教育の中心となって活躍できるよう全力で取り組んでいきたいです。



三木小学校 和田真由子

固有教員として品川区に来て、1年が経ちました。昨年度は、小中一貫校品川学園で元気で明るい子どもたちと教育熱心な先生方と共に充実した毎日を過ごしました。4月当初は、施設一体型の大きな校舎や品川一のグラウンドという恵まれた環境を生かし、どのような教育を繰り広げられるかと胸をいっばいにしました。また、1年生から9年生までが同じ校舎の中で学び成長していく姿を日々感じとれるのも、小中一貫校の魅力の一つであると実感しました。

品川学園では、習熟度別学習、教科担任制、姉妹校との国際理解教育等、新たな初等教育の在り方を日々研究し発信しています。その中でも、昨年度は算数科の習熟度別学習に力を注ぎました。授業の中では、子どもが自ら「分かる！楽しい！」と思える場面設定を心がけました。教員主導で授業を進めるのではなく、児童と共に創り上げていく授業はとても新鮮で、私自身の教科研究にも繋がりました。

今年度は、新たに三木小学校で教員をすることになりました。これからの時代を担っていく子どもたちを育てていくために、保護者や地域の方の力もお借りしながら、より一層の指導の充実を図りたいです。



八潮学園 新井 亮寛

同じ区固有教員の先輩方と3年計画で研究を進めていくこと、全国小中一貫教育サミットに参加し、様々な地域の教育にふれる機会があることなど、昨年度は品川区固有教員としてのやりがいと使命感を強く感じた1年間でした。

現在、私の勤務校である小中一貫校八潮学園は、1年生から9年生までが共に生活しています。1年生が9年生に手をつながれて入場する入学式、中学生が優しく小学生に接している姿を目にすることができる部活動、小中一貫教育のよさを様々な場面で感じることができました。また、ファミリー運動会、八潮祭り、八潮30周年記念式典などの地域行事では、学校と地域が一体となり子どもたちを育てているというのを感じ取りました。

このような恵まれた環境で、子どもたちとともに、2年目も「日々成長」していきたいと思えます。





立会アタッカーズ (男子)



3月21日、第25回品川区長杯争奪小学生卒業記念バレーボール大会が、総合体育館で開催されました。

男子2チーム・女子10チームの総勢350名が参加し、熱戦を繰り広げました。

- 優勝 立会アタッカーズ(男子)
- 準優勝 立会アタッカーズ(女子)
- 第三位 延山ヘガサス

NEWSAMADAI (女子)



立会キングス



第31回品川区教育長杯争奪少年野球大会が、しながわ区民公園を中心に、4月6日から5月11日まで開催されました。中学生14チーム239名が参加し、熱戦を繰り広げました。

- 優勝 立会キングス
- 準優勝 西大井倉田野球クラブ
- 第三位 宮前ジュニアーズ

富士見台中学クラブ

LIBRARY report



4月26日(土)、荏原文化センターにおいて「子ども読書の日フェア」を開催しました。

乳幼児から小学生までそれぞれの年代に、楽しみながら読書に興味をもってもらえるようにと企画し、好天に恵まれたなか、約1200人の参加がありました。

人形劇「赤ずきん」では、オオカミをおばあさんと思いつい込んだ赤ずきんに、「注意して!」と思わず声をかける子どももいました。

各年代に向けた内容の3作品を上映した「子ども映画会」も好評でした。特に、人気児童書が原作の「マジックツリーハウス」が、小学生の人気を集めました。

乳児から小学生に向けたそれぞれの「おはなし会」では、熱心に聴き入ったり、保護者と一緒に手遊びに参加して笑顔を交わしたりする姿が見られ、「科学工作遊び」では、幼児は「くるくるアニメ」を、小学生は「ぶるぶるキャラクター」を作り、完成した自分の作品を動かして科学に

information

親しみました。

図書館で発行しているお勧め本リスト「よんでみたいなー」に載っている本や大型絵本の展示コーナーでは、ボランティアによる「乳児向けおはなし会」に参加したり、選んだ本の読み聞かせをしながらふれあったりしている姿が多く見られ、くつろいで読書を楽しむ親子連れで、終日賑わいました。



お知らせ

平成26年5月27日開催第9回教育委員会定例会にて品川区教育委員会傍聴規則の一部を改正いたしました。教育委員会は原則として公開されており、審議内容をより多くの方に傍聴していただくため、傍聴定員を10名から30名にいたしましたのでお知らせください。